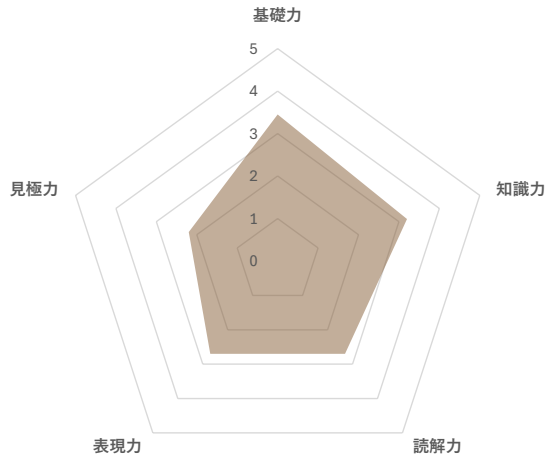
2025 年度　3月10日　実施　私立　大阪医科薬科大学　医学部　講評　英語

総合分析

試験区分	一般（後期）

制限時間	80分	大問数	全 3 問

合格に要する能力（5段階）



本年度 出題大分類

長文読解	75%
自由英作文	0%
短文空所補充	0%
短文正誤判定	0%
短文整序英作文	0%
和文英訳	25%

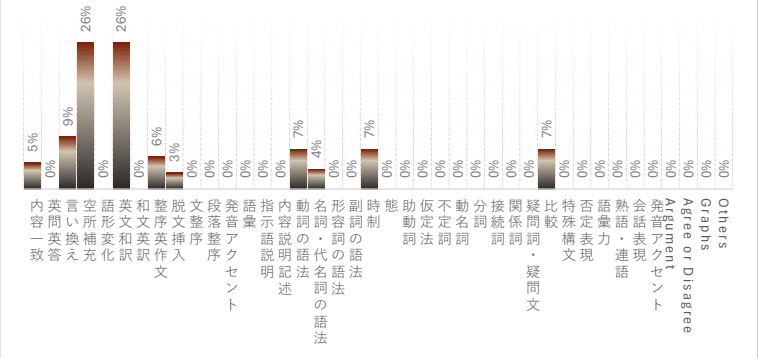
本年度出題テーマ一覧

第 1 問	長文読解
第 2 問	長文読解
第 3 問	英作文

本年度 解答形式

論述＋選択肢 75%　論…

本年度 出題小分類



合格に要する能力（5段階）

基礎力	3.3	教科書レベルの文法に対する理解
知識力	3.0	語彙・熟語・語法の知識
読解力	2.5	長文を正確に読み解く力
表現力	2.5	日英双方で正確に伝達する力
見極力	2.0	解きやすい問題を選択する力

特殊問題の有無	会話文問題なし	グラフなし
和文英訳あり	要約あり	発音アクセントなし

特記事項	特になし

総合評価

難度	2.7	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	78%
分量	52分	完答に要する時間（制限時間は80分）	やや少ない	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策	強い特徴や偏りがないバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校英語の学習でよい。
入試から見る大学が求める学生像	以前と比べると記述量は減少したが、それでも日英双方で正しい表現を作る力は必要な問題となっている。付け焼刃の学習ではなく、英語の基本がしっかりと身に着けた学生が求められている。